

奈良県立大学地域創造学部 小松原ゼミ学生による 御所市 着地型観光への提案

目次

1.	御所サンダルでゆく、ごせまち探索ツアー	1
2.	ツーリング、ドライブで巡る御所観光.....	1
3.	くすりの町～御所～お散歩ツアー	2
4.	葛城山滝とツツジを鑑賞するツアー	2
5.	御所を灯すライトアップイベント	3
6.	京都・大阪発着 もっと奈良・冬の御所（ごせ）探訪バスツアー	3
7.	御所歴史遺産巡りとつつじ狩り	6

提案の概要

	タイトル	ターゲット	期間	行程
1	御所サンダルでゆく、ごせまち探索ツアー	比較的若い女性、または子供	7月～8月頃	午前中：ごせまち探索。休憩と昼食を途中でとりつつ、ゆっくりと歩く。 午後～夜：夏祭りへ参加。
2	ツーリング、ドライブで巡る御所観光	ツーリング、ドライブで奈良県中南部を訪れる人々	3月～11月頃	御所まちで休憩、食事、→御所まち散策→葛城山ロープウェイを利用し山頂へ→葛城の道コースを通り、高鴨神社、一言主神社、九品寺など観光→かもきみの湯
3	くすりの町～御所～お散歩ツアー	歴史に興味があり、ウォーキングが好きな人	4月～10月頃	田村薬草園→車16分→三光丸クスリ資料館→徒歩50分→吉祥草寺
4	葛城山滝とツツジを鑑賞するツアー	若者、中高年	4月～6月	近鉄御所集合（葛城山口駅まではバス）→徒歩で節羅の滝→二の滝を經由→展望台。さらに白樺食堂→葛城高原。帰りは葛城山頂駅からロープウェイとバスを利用し、近鉄御所駅で解散。
5	御所を灯すライトアップイベント	お子様からお年寄りまで老若男女問わず	四季折々	夜間イベントとして日帰り
6	京都・大阪発着 もっと奈良・冬の御所（ごせ）探訪バスツアー	ツアータイトルに惹かれる人全般	12月～3月頃	京都8:30/大阪9:30発-御所10:10着 ごせまち周辺-名柄周辺-温泉 御所17:20発-大阪18:00/京都19:00着)

1. 御所サンダルでゆく、ごせまち探索ツアー

旅行の対象者	比較的若い女性、または子供		
想定時期	7月～8月頃	ツアー期間	日帰りツアー
ツアー内容			
1. ツアー タイトル	御所サンダルでゆく、ごせまち探索ツアー		
2. 企画立案の 背景・理由	ゼミの時間にいただいた「御所の逸品」のパンフレットを開いて、一番に目に入ってきたのがサンダルや履物でした。「若者に人気」と表記されていたので、これをうまく活用できないかと考えました。		
3. ポイント①	「履きやすいサンダル or 靴」と題売って、実際に観光客に履いてもらい、それで御所まちを探索する。ただし、靴擦れになる可能性大なので、短距離移動で観光する。もし、観光客が履物を気に入れば、購入可能にする。		
3. ポイント②	7月の夏祭りにあわせて、浴衣と一緒に浴衣に合うサンダルをレンタルできれば、それを着用し、お祭りに参加してもらおう。		
3. ポイント③	このツアーに、桐で作った下駄を代用してもよいと思う。その旅の思い出に、ミニ下駄作り体験を組み合わせると、さらに良くなると思う。		
行程表	午前中：ごせまち探索。休憩と昼食を途中でとりつつ、ゆっくりと歩く。 午後～夜：夏祭りへ参加。		
提案者氏名	井上 紗希		

2. ツーリング、ドライブで巡る御所観光

旅行の対象者	ツーリング、ドライブで奈良県中南部を訪れる人々		
想定時期	3月～11月頃	ツアー期間	0泊1日～1泊2日
ツアー内容			
1. ツアー タイトル	ツーリング、ドライブで巡る御所観光		
2. 企画立案の 背景・理由	ツーリング、ドライブで奈良県中南部を訪れる人は多く、その際に御所市を通る人も多いのだが、なかなか御所の魅力を知らないために立ち寄ることがなく、せっかく名所があるのにもったいないように感じるため		
3. ポイント①	御所にある名所のPR（できれば地図でどのようにまわるのがよいかを分かりやすくするのがよい。観光客に事前に予定を立ててもらっている方が多くのところ立ち寄ることができる。）		
3. ポイント②	立ち寄ったときにお金を使ってもらおう工夫（特にツーリングで訪れる場合あまり大きなものは買えないため、飲食、入場料などでお金を使ってもらおうのがよい。）		
3. ポイント③	休憩できる場所、駐車場の案内（駐車場があるかは立ち寄るときに重要なポイントとなる。そして、車、バイクから降りたときにお金を使ってもらおうチャンスなので休憩できる場所があると効果的と思われる。）		
行程表	御所まちで休憩、食事、→御所まち散策→葛城山ロープウェーを利用し山頂へ→葛城の道コースを通り、高鴨神社、一言主神社、九品寺など観光→かもきみの湯		
提案者氏名	細川 峻		

3. くすりの町～御所～お散歩ツアー

旅行の対象者	歴史に興味があり、ウォーキングが好きな人		
想定時期	4月～10月頃	ツアー期間	0泊1日
ツアー内容			
1. ツアー タイトル	くすりの町～御所～お散歩ツアー		
2. 企画立案の 背景・理由	奈良県御所市は、歴史のある製薬会社が12社ある。このようにくすりに関係の深い地域で、資料館などもあるため、企画した。		
3. ポイント①	田村薬草園で、薬の原料や、大和野菜の菜園の様子が見学できる。なかなか生きている薬草を見る機会は無いため貴重である。		
3. ポイント②	三光丸くすりの資料館では、三光丸の歴史だけでなく、大和の製薬の歴史も学ぶことができる。製丸の工程も理解できるため、見応えがある。		
3. ポイント③	吉祥草寺には、今でも有名な薬である陀羅尼助丸を作った役行者の生誕の地であり、修行をしたところでもある。陀羅尼助はもちろん、役行者は南総里見発見伝に登場するなど有名であるため、吉祥草寺は魅力にあふれたスポットである。		
行程表	田村薬草園→車16分→三光丸くすり資料館→徒歩50分→吉祥草寺		
提案者氏名	大下 紗季		

4. 葛城山滝とツツジを鑑賞するツアー

旅行の対象者	若者、中高年		
想定時期	4月～6月頃(ツツジの開花時期)	ツアー期間	日帰り
ツアー内容			
1. ツアー タイトル	葛城山滝とツツジを鑑賞するツアー		
2. 企画立案の 背景・理由	葛城山は初心者にも登りやすい山であると聞き、かつ市HPに掲載されているツツジの写真が素晴らしかったから		
3. ポイント①	近年、山登りを趣味とする「山ガール」という若者が増加しているそうです。葛城山は特別な装備を必要としない初心者向けの山ですが、分かれ道が多く道が複雑だと感じ、ならば市町村の方々によるガイド付きの登山というツアーというものがあると気軽に参加しやすいのではないのでしょうか。		
3. ポイント②	人数は少人数(4～5)を想定しています。ガイド1人+観光客でちょうどロープウェイに乗れる人数以下であることが望ましいと思います。		
3. ポイント③	住民による道案内の他、滝の名前の由来や歴史などもガイドしていただければより良いツアーになると考えます。		
行程表	近鉄御所集合、葛城山口駅まではバス。そこから徒歩で節羅の滝、途中二の滝を経由して展望台へ。そこからさらに白樺食堂を経由し、葛城高原へ。帰りは葛城山頂駅からロープウェイとバスを利用し、近鉄御所駅で解散。		
提案者氏名	谷内 義和		

5. 御所を灯すライトアップイベント

旅行の対象者	お子様からお年寄りまで老若男女問わず。		
想定時期	四季折々	ツアー期間	日帰り
ツアー内容			
1. ツアー タイトル	御所を灯すライトアップイベント		
2. 企画立案の 背景・理由	<p>私は、多角的な役割を持つ光の景観創造というテーマで研究を進めています。ライトアップイベントは近年増加しており、注目度が高く、集客力もあることから御所市でも何かできないかと思ったことが企画立案の背景にあります。私の研究テーマにも掲げている通り光景観は様々な役割を持っているものだと考えます。</p> <p>地域振興の手段としての光景観・美観形成の手段としての光景観・観光の重要コンテンツとしての光景観など地域に多くの効果を見込めるのが光景観だと考えます。また、御所には夜景が望める場所もあるということで夜景スポットとしてのPRも効果的ではないかと考えます。</p>		
3. ポイント①	<p>自然と融合させた光。桜をライトアップするなど夜間照明としての機能の光だけではなく、思わず見とれてしまい遊歩できるような空間の演出をし、ライトアップウォーキングイベントのようなものを行う。葛城山自然ツツジ園で、ツツジのライトアップも良いのではないかと思います。また、葛城山や金剛山の山頂で、冬の時期であれば雪と光を融合させた催しをする。</p>		
3. ポイント②	<p>町家と融合させた光。『奈良・町家の芸術祭 HANARART』で行われているようなことを長期的に行い、御所まちを認識してもらう。注目されている町家空間は観光資源として成り立つと考える。地域住民の地元愛や協力関係を強めることができる。</p>		
3. ポイント③	<p>神社仏閣と融合させた光。神社仏閣だけではなく、その周辺を光で演出し、幻想的な空間をつくり出し、周遊できるようにする。</p>		
行程表	夜間イベントとして日帰りで行う。		
提案者氏名	田中りか		

6. 京都・大阪発着 もっと奈良・冬の御所（ごせ）探訪バスツアー

旅行の対象者	ツアータイトルに惹かれる人全般		
想定時期	12月～3月頃	ツアー期間	日帰り
ツアー内容			
1. ツアー タイトル	京都・大阪発着 もっと奈良・冬の御所（ごせ）探訪バスツアー		
2. 企画立案の 背景・理由	<p>奈良といえば、まず思い浮かぶのは大仏やその近辺の寺社仏閣ではないだろうか。私自身、奈良県立大学に通ってまもなく4年を経過するが、奈良市以外ほとんど行ったことがないというのが実情である。なぜ、あまり行ったことがないのかを考えてみた。すると、私の場合、意外にも交通事情が関係しているようだった。私は京都府に在住しており、普段は鉄道を利用して大学に通っている。しかし、これが1時間程の時間を要するので、さらにここから乗り換えをして出かける、という発想に至らなかったのである。これは、あくまでも私のケースなので、京都府民すべてに当てはまるとは言い切れないということも、一応付け加えたい。しかし、もし乗り換えの手間によって御所市を訪れる機会を逃している人が多いと仮定すると、何か手を打つ方法はないだろうか。</p>		

	<p>そこで浮かんだのが、発着地が住まいから近く、乗り換えなしのバスツアーである。</p> <p>場所の設定を京都・大阪としたのは、まず関西圏で御所市を知って、訪れてもらいたいと思ったためである。より広い関西圏を見据えるならば、大阪発着のみよりも京都発着も含めたほうが集客効果があるのではないだろうか。</p> <p>また、バスツアーの利点をもうひとつ述べておきたい。それは、雨天時も移動しやすいという点である。御所市は、醤油やお酒などの地場産業をはじめ、寺社仏閣、まちなみなど見所が多くあるということが、御所市観光協会の「葛城の道コース」というマップと御所市発行の物産ガイド「御所の逸品」を見てわかった。そのなかで気になったことが、雨天の場合の観光である。どの地図、プランも徒歩での御所観光が前提であり、中には移動所要時間 60 分の場所もある。ただ、雨天時や日頃長距離を徒歩移動しない人には不慣れなことかもしれない。御所の良さすべてを見てもらうことはできないが、バス移動はその点において便利だと思う。</p> <p>さて、これまでなぜバスツアーなのか述べてきたが、ここからはツアータイトルにもある“もっと奈良・御所（ごせ）”について詳しく述べたい。最初に少しふれたことだが、奈良に旅行するというと、やはり多くは奈良市周辺にとどまってしまう。奈良県公式ホームページより平成 24 年奈良県観光客動態調査報告書 (www.pref.nara.jp/secure/15577/houkokusyo24.pdf) を参照すると、一目瞭然である。しかし、奈良市に奈良県の見所が凝縮されているかということ、そうではないはずだ。そこで、先に挙げたタイトルにした。</p> <p>旅行の対象者は、年代・性別を問わず来てもらいたいため、特に限定しなかった。</p> <p>想定時期は、12～3 月頃とまだまだ寒い時期である。寒くても暖まるツアーにしたいと思い、この時期にした。</p> <p>ツアー期間は、日帰りと考えている。その理由は、日帰りの方が休みの都合がつけやすく、今回はより多くの人に御所市のことを知ってもらいたいと思うためである。</p>
3. ポイント①	<p>①まちなみ探訪</p> <p>私は、大学 2 回生時に、霜月祭に行く機会があり、同時にごせまちを案内していただいた。文化と歴史がつまった町家や道を見て歩き、奈良の良さは県内の至る所にあるのだと実感した。見所は、ごせまちだけにとどまらないと思う。「御所の逸品」を見ると、名柄のまちなみも魅力的だ。また、九品寺にも立ち寄りたところである。白洲正子著の「かくれ里」の中でもとりあげられた千体石仏もそうだが、大和三山が一望できるという点が興味深い。</p>
3. ポイント②	<p>②御所の食べ物</p> <p>御所市の物産ガイド「御所の逸品」より、食に関連した地場産業が多いとわかった。醤油やお酒は料理の調味料になるし、はるさめ、山の芋、野菜、米は一品に、吉野本葛はデザートにもなりうる。しかし、生産・販売場所は広域にわたるので、一日ですべて味わうのは難しい。それを可能とするかもしれないのが、お弁当である。地図を見ると、JR 吉野口駅に柳屋さんという駅弁製造・販売をしているお店がある。そこに協力を依頼して、御所の素材を活かした“御所よくばり弁当”のようなものが出来ないだろうか。可能であれば、バスツアーの昼食にと考えている。</p> <p>また、私が注目したのは、「御所の逸品」に掲載されている北村牧場さんである。今回、冬のバスツアーということで、ツアーの後半に御所にある温泉に立ち寄り、暖まるツアーにしたいと考えていた。そこで結び付いたのが、温泉と牛乳である。お風呂あがり牛乳というのは定番だが、ホッとしていただけ</p>

	のではないかと思う。
3ポイント③	<p>③温泉でひといき</p> <p>②のポイントでもふれたが、最後に旅の疲れを癒し、冷えをとって帰ってもらえればという思いから、日帰りのなかでもゆっくりできる温泉をツアーに入れた。</p> <p>温泉の候補地は2つである。1つは、地図にもよく載っている「かもきみの湯」である。駐車場があり、営業開始時間が早いので、時間の都合がつけやすいという点に注目している。もう1つは、あまり地図には載っていないが、「新産湯温泉」という御所小学校の東側に佇む温泉で、レトロな雰囲気醸し出している。駐車場はあるが、営業時間は16時からと「かもきみの湯」よりは遅くなる。ちなみに参照したのは、(www5b.biglobe.ne.jp/~manimani/report/nara/gose-shinzanyu.htm)である。</p>
行程表 (日帰り ok)	<p>京都：8：30 発-大阪：9：30 分発-御所：10：10 分着</p> <p>ごせまち周辺-名柄周辺-温泉</p> <p>御所：17：20 発-大阪：18：00/19：00 着)</p> <p>御所市に到着してから御所市を発つまで約7時間</p> <p>うち まちなみ探訪：3時間45分</p> <p> 昼食 ：45分</p> <p> 温泉 ：1時間</p> <p> 車移動 ：1時間30分</p>
提案者氏名	真柴 珠希 (ましば たまき)

7. 御所歴史遺産巡りとつつじ狩り

旅行の対象者	家族連れ、写真愛好家、		
想定時期	5月～ 5月頃	ツアー期間	1泊 2日
ツアー内容			
1. ツアー タイトル	御所歴史遺産巡りとつつじ狩り		
2. 企画立案の 背景・理由	御所市には歴史的価値の高い遺構や神社が多数あるのでこれを利用します。また、葛城山はつつじの名所だそうなので、歴史遺産だけでない御所の魅力を伝えます。		
3. ポイント①	御所は日本神話の高天原として登場するほど歴史が深いので遺構も多く、見どころ十分です。		
3. ポイント②	一面につつじが咲き乱れる葛城山で一泊するため、日常とは異なる雰囲気を感じることができます。		
3. ポイント③	観光客は基本的に公共交通機関と徒歩による移動なので、地域住民の生活環境悪化を防ぎます。また、観光客は日ごろの運動不足を解消できます。		
行程表	<p>【1日目】 電車またはバスにて御所へ 葛城一言主神社、高天彦神社、高鴨神社等を徒歩で訪れる。 夕方、ロープウェーで葛城山へ 葛城高原ロッジにて一泊</p> <p>【2日目】 つつじを観賞。 ロープウェーで下山し、帰宅</p>		
提案者氏名	端野 良介		